

有馬頼寧「有馬頼寧日記」

昭和20（1945）年8月1

6日

8月16日（木）晴

午後九時半より海洋、中水、帝水等の人々
水産局長に招かれ、さし当つての漁業の事、
備蓄品処分の件につき相談あり。あとに
海洋関係者集り、軍より戻る船、軍用の
油其他の資材を以て早急に漁獲を増
すこと。帝水の統制関係など暫く問題と
せず。東久邇宮組閣の大命を拝さる。
鈴木内閣の退陣、無責任の感あり。
暫定内閣として皇族の内閣止むを得
ざるとしても、良策にあらず。墨を皇室に及
ぼす虞おそれれあり。二・二六に類したこと起こりつゝ
あり。早く民主的の政体にする要あり。自
刃者相つぐ。感心したことに非あらず。